

vol.143

2017.8

# 営繕とうほく

EIZEN TOHOKU

発行  
東北地方整備局  
営繕部  
盛岡営繕事務所



【東北運輸局福島運輸支局】

## CONTENTS

完成施設紹介【東北運輸局福島運輸支局】	2～3
平成29年度 優良工事表彰	4～5
平成29年度 東北地方整備局 管内業務発表会が開催されました	6
保全ニュースとうほく	7～8
平成29年度 「東北地区官庁施設保全連絡会議」を開催しました！	

東北運輸局福島運輸支局は、JR 福島駅から南西に約 2km の準工業地域に位置しています。旧庁舎は、昭和 38 年に建設された鉄筋コンクリート造地上 2 階建ての建物です。昭和 49 年、58 年の増築を経てこれまで業務を行ってきましたが、業務内容の変化に伴い施設が狭隘となったことや、経年による老朽化、耐震性能の不足等の理由から、現地での建て替えを行ったものです。

新庁舎の整備にあたり、工事中も業務を継続させる必要があったため、まずⅠ期工事として構内の駐車場部分に新庁舎を建設後に引越を行い、Ⅱ期工事として旧庁舎を解体した後、新たに駐車場を整備する工事としました。長期にわたる工事でしたが、入居官署の皆様、利用者の皆様、周辺にお住まいの皆様のご協力のもと、平成 25 年度の事業計画から約 4 年の歳月を経て、この度、施設が完成しました。

### 【設計概要（平面・空間構成）】

平面・空間構成については、将来のレイアウト変更にもフレキシブルに対応が可能となるよう整備しているとともに、採光、換気に自然エネルギーを活用し、きめ細やかな空調・照明システムの導入により、快適な執務環境、環境負荷低減を図っています。また、ユニバーサルデザインに留意し、高齢者、身障者を問わず、全ての人に利用しやすい庁舎としています。



（写真）1 階エントランス、ホールの様子。カウンター部分と腰壁部分には、タモの天然木化粧合板を採用し、温かみのある雰囲気を出しながら、積極的な木材活用を図っています。

来客部分の床は 300 角の磁器質タイル張りとし、日常の清掃や定期的な維持管理のしやすさ等、メンテナンス性を高めています。



（写真）1 階エレベーターホール。右奥の出入り口は、隣地の自動車会館の敷地へとつながり、利用者の利便性に配慮しています。



（写真）2 階来客スペースと右側が事務室。内装は 1 階と同様に壁が石膏ボード塗装仕上げ、腰壁がタモの天然木化粧合板。左側の壁には、屋内掲示板や掲示用ピクチャーレールが設置されています。



（写真）2 階会議室。移動間仕切りにより 2 室に区画することができ、多目的に使用可能となっています。会議室を含め全室に LED 照明器具を採用し、ランニングコストの削減を図っています。

## 【設計概要（外観・外構計画）】

庁舎の階構成は、周辺とのスケール感を合わせるため、前面道路側となる南側を2階建ての低層部とし敷地奥を3階建てとしています。外観は低層部を落ち着いた茶系のタイル張り、他をベージュ系の複層仕上塗材とし、壁面を分割することで周辺とのボリューム感の調整を図っています。また、構内排水の放流先が敷地を横断する農業用水路となっているため、排水抑制対策として雨水貯留槽（約550t分）を駐車場のアスファルト舗装下に設置しました。



（写真）駐車場から見た西側の外観。低層部屋上には、冷却塔や空調屋外機の目隠しとしてルーバーを設置し景観に配慮しています。高層部屋上に見えるのは3列に設置している太陽光発電パネル。一部の外灯にも太陽光発電仕様の器具を採用し、自然エネルギーの活用を積極的に行っています。また、外構は敷地内の緑化面積を保つため、中・低木による植栽を整備している他、構内の規制標識、庁舎看板などの色彩に、道路標識で使用されるJ I Sの安全色彩を採用するなど、安全でわかりやすく、利用しやすい施設整備を行っています。



（写真）西日対策の庇と水平ルーバー。複層ガラス、ブラインドと共に窓開口部の日射制御により、省エネを図っています。水平ルーバーは耐候性を考慮し、アルミ型材に再生木材が被覆された材料を採用しています。

## 【施設概要】

施設名：東北運輸局福島運輸支局  
場所：福島県福島市吉倉字吉田54  
構造・規模：鉄筋コンクリート造  
3階建て  
建築面積：582㎡  
延べ面積：1,457㎡

電力設備：受変電設備  
太陽光発電設備  
電灯設備・動力設備  
通信設備：構内交換設備  
映像・音響・拡声設備  
誘導支援設備  
テレビ共同受信設備  
情報表示設備  
構内情報通信網設備  
監視カメラ設備  
火災報知設備

空調設備：空調・換気設備  
自動制御設備  
衛生設備：衛生器具設備  
給水設備  
排水設備  
給湯設備  
ガス設備  
エレベーター設備：13人乗1台

設計：東北地方整備局営繕部  
株式会社都市環境設計  
監理：東北地方整備局営繕部  
株式会社SUN総合  
施工：株式会社植木組（建築）  
住友電設株式会社（電気）  
日新設備株式会社（機械）  
工期：平成27年8月19日～  
平成29年6月30日



## 平成29年度 優良工事表彰

### 表彰式の開催

平成29年7月19日、仙台市戦災復興記念館において、「平成29年度 東北地方整備局国土交通行政関係功労者表彰式」（優良工事施工会社東北地方整備局長表彰）を行いました。

また、続いて平成29年7月25日には盛岡合同庁舎会議室において「平成29年度 営繕優良工事表彰式」（盛岡営繕事務所長表彰）を、平成29年7月27日には、仙台合同庁舎B棟共用第二会議室において「平成29年度 営繕優良工事表彰式」（保全指導・監督室長表彰）を行いました。

これらの表彰は、平成28年度に工事が完了し、積極的な創意工夫がなされるなど、建設業における事業の推進に功績があった施工会社等を表彰するものです。

### 優良工事施工会社表彰（東北地方整備局長表彰）

工事名称：山形法務総合(13)電気設備工事

施工会社：株式会社 ユアテック

本工事は、山形法務総合庁舎（地下1階、地上4階、延べ床面積6,927㎡）について、現地にて建て替えを行った工事です。

庁舎はⅠ期として旧庁舎の南側に庁舎の半分（設備室を含む）を完成させ、旧庁舎から引越しを行い、旧庁舎を解体、その後Ⅱ期工事として残り半分の庁舎を建設しⅠ期工事と結合するという特徴を持った工事です。

当初計画では、Ⅰ期工事施工中、敷地内で業務を継続する旧庁舎への安定的な電源供給を図るため、仮設受変電設備を設置する計画でしたが、新設庁舎の受変電設備に切替用遮断機を追加し、高圧電源の切替えを行うことを提案し施工したことにより、仮設の受変電設備の設置が不要となったほか、停電回数の低減及び停電時間の短縮を実現しました。また、困難な高圧電源の切り替えを行うため連携及び相互調整を的確に行うとともに、電気事故防止などの安全対策についても積極的に取り組みました。

### 営繕優良工事表彰（保全指導・監督室長表彰）

工事名称：宮城障害者職業能力開発校(15)電気設備他改修工事

施工会社：有限会社 タカヤ電工舎

本工事は、宮城障害者職業能力開発校の受変電設備、自家発設備、消火設備、給水設備、ガス設備などの防災機器等を更新する工事です。

本施設には、寄宿舎、教室棟、食堂棟などの複数棟の建物が有りこれらの機能を維持しながら改修を進める必要がありました。改修工事の施工場所が広範囲に及ぶ為に工事作業者、開発校の先生方及び施設の管理会社等を対象とした改修内容の工事打合せ会を頻繁に実施し、工事での危険箇所などの周知を徹底し生徒等への安全対策に配慮し工事を完成させました。

また、工事施工時には、既存消防関連設備の不具合が確認された為、別途、対策工事を開発校が実施することとなり関係機関と緊急の打ち合わせを行いながら、対策工事についての立案を行うなど、別途工事との連携をとりながら工事を完了させました。

また、工事車両出入り口に交通誘導員を配置し現場に隣接する小学校の通学路の安全確保や、既存アスファルト舗装解体時に防音シートを使用し近隣住宅地への騒音防止なども積極的に取り組みました。

**営繕優良工事表彰（盛岡営繕事務所長表彰）**

**工事名称：大仙地域センター上栄分室(16)既存庁舎取りこわし外1件工事**

**施工会社：藤重建設 株式会社**

本工事は、廃庁となった大仙地域センター上栄分室の取りこわしと、大曲公共職業安定所の空調設備改修の複合工事です。

空調設備改修は、入居官署が業務を行いながらの改修、騒音や振動の発生が大きい作業は閉庁日である土曜日に施工を集中させ、日曜祝日は休工として周辺住民へ配慮するとともに作業員等の休日確保しワークライフバランスに資するよう努めました。平日の作業時は執務室に面する開口部に防音・断熱対策を行うなど官署業務に影響を及ぼさないよう工夫をしました。

また、有価廃棄物売り払い事務を行うこととなりますが、計量装置装備のラフタークレーンを使用するなどし、精度の高い重量を報告することで事務の効率化に寄与しました。

さらに、両工事とも作業区画末端に夜間表示灯を設置するなど、第三者災害の防止に積極的に努めました。



東北地方整備局長表彰



保全指導・監督室長表彰



盛岡営繕事務所長表彰

## 平成29年度 東北地方整備局 管内業務発表会が開催されました

東北地方整備局管内業務発表会は、地域のニーズに的確に対応した社会資本整備を進めていくうえで、必要となる技術、行政・法令及び経済分野の調査・研究成果についての討議の場の確保と、発表者の自己表現・創造力開発技能の向上を図ること等を基本方針として、整備局・地方公共団体・関係団体等に加え、民間企業からも論題を募集し毎年度開催しています。



〔発表風景〕

今年度は、平成29年6月14日（水）、15日（木）の2日間にわたり、東北地方整備局が入居する仙台合同庁舎B棟の各会議室において、①マネジメント、②防災、③インフラ活用・アカウントビリティ、④新技術・業務の効率化、⑤メンテナンス、の5つのテーマで、それぞれ発表が行われました。

また、(株)東北地域環境研究室 代表 志賀秀一氏による「東北の元気と地域づくり」と題した特別講演も併せて開催され、全プログラムが盛況のうちに終了しました。

営繕関係では、下記の4論題の発表が行われ、東北地方整備局営繕部整備課の石川技官が最優秀賞を、岩手県県土整備部建築住宅課の柗谷主査が奨励賞を受賞しました。

テーマ	論 題	所 属	発表者(敬称略)
マネジメント	森林管理署庁舎における木材利用の設計手法について	東北地方整備局 営繕部 整備課	石崎 貴弘
マネジメント	山形県立山形工業高等学校改築整備事業について	山形県 県土整備部 建築住宅課 営繕室	本間 大資
マネジメント	石巻港湾合同庁舎における地中熱利用空調システムの効果検証について	東北地方整備局 営繕部 整備課	石川 誉大
インフラ活用・ アカウントビリティ	旧陸軍省軍馬補充部六原支部官舎の利活用について	岩手県 県土整備部 建築住宅課	柗谷 祐介

なお、管内業務発表会の詳細及び論文については、東北地方整備局ホームページでご覧いただけます。

掲載箇所は下記のとおりです。

「東北地方整備局トップページ」  
→「各種会議等」  
→「管内業務発表会（H29）」

または、下記URLをクリック

<http://www.thr.mlit.go.jp/bumon/b00097/k00360/happyoukai/H29/index.html>



〔受賞された皆様〕

最後に、発表者及び聴講者の皆様、大変お疲れ様でした。来年度も、皆様の積極的なご参加をお待ちしております。



# 保全ニュースとうほく

平成29年度「東北地区官庁施設保全連絡会議」を開催しました！

東北地方整備局営繕部及び盛岡営繕事務所では、東北6県で平成29年度「東北地区官庁施設保全連絡会議」を開催しました。

本会議は、保全指導・支援の一環として、国家機関、独立行政法人、地方自治体等の施設管理者や保全業務担当者などを対象に毎年度開催しているもので、今年度は6会場合わせて188機関、278名の方々に出席いただきました。

## ■平成29年度 東北地区官庁施設保全連絡会議 開催状況一覧

開催地	会場	開催日	上段：延べ出席機関数（主催者を除く）			
			下段：延べ出席者数（主催者を除く）			
			国家機関	独立行政法人等	地方自治体	計
仙台市	仙台合同庁舎A棟	平成29年7月11日	41 機関	5 機関	7 機関	53 機関
			61 人	6 人	11 人	78 人
盛岡市	盛岡第2合同庁舎	平成29年7月14日	26 機関	3 機関	11 機関	40 機関
			32 人	3 人	15 人	50 人
青森市	青森第2合同庁舎	平成29年7月19日	24 機関	0 機関	4 機関	28 機関
			37 人	0 人	8 人	45 人
福島市	コラッセふくしま	平成29年7月21日	16 機関	0 機関	7 機関	23 機関
			19 人	0 人	10 人	29 人
山形市	山形県生涯学習センター（遊学館）	平成29年7月25日	22 機関	0 機関	3 機関	25 機関
			32 人	0 人	4 人	36 人
秋田市	秋田合同庁舎	平成29年7月27日	15 機関	0 機関	4 機関	19 機関
			24 人	0 人	16 人	40 人
計			144 機関	8 機関	36 機関	188 機関
			205 人	9 人	64 人	278 人

会議では、「国家機関の建築物等の保全の現況」に関する内容として、施設保全の必要性、平成28年度の保全実態調査結果（東北版）、インフラ長寿命化計画（行動計画）とフォローアップ状況、国家機関の建築物等の定期点検制度、保全指導結果事例などを紹介しました。

また、東北地方環境事務所から「新たな政府実行計画～政府のオフィスや公用車等に関する地球温暖化計画～」と題し、官庁施設におけるLED照明の導入や、次世代自動車の導入等についての基本的な考え方や留意点について説明いただきました。



会場の様子



東北地方環境事務所からの説明の様子

各会場にてご協力いただいたアンケートの結果から、最も高評価をいただいた議題は「映像で見る建築物点検マニュアル」、次いで「保全実地指導及び保全指導結果事例」となっており、建築物の具体的な点検箇所の確認方法や、日頃の業務に密着した庁舎管理上の注意点への関心の高さが伺われました。

また、会議全体を通して「建築物点検の映像は非常に分かりやすく、点検のポイントを学ぶことができた」、「保全指導結果事例は、実際の事例が写真つきで分かりやすかった」などのお褒めの言葉をいただいた一方、「定期点検制度について、具体的な実施方法等を教えて欲しい」、「施設管理者に対応して欲しいことに特化して説明したほうがよい」といったご意見もいただきました。この貴重なご意見は、次回以降の参考とさせていただきます。よりご要望に沿った会議になるよう改善してまいります。

会議終了後には保全相談を受け付け、国家機関や地方自治体等の方々から予算要求方法や、建築物の定期点検の実施方法等についての相談が寄せられました。また、アンケートにおいても、皆様が普段業務で抱えているお悩みなども多く寄せられています。私ども東北地方整備局では、皆様の保全業務に必要な技術的支援をはじめ、保全に関する疑問やお悩みなどにつきましても相談窓口を設けておりますので、お気軽にご連絡ください。



映像で見る建築物点検マニュアルの上映



保全相談の様子

#### ■保全に関する相談窓口

東北地方整備局 営繕部 保全指導・監督室 担当者：室長補佐

TEL 022-225-2171 (内線 5513) FAX 022-268-7833

東北地方整備局 盛岡営繕事務所

担当者：保全指導・監督官室長

TEL 019-651-2015

FAX 019-605-8115

#### 営繕とうほく編集室

〒980-8602 仙台市青葉区本町3丁目3-1 仙台合同庁舎B棟  
東北地方整備局 営繕部 計画課内  
TEL 022-225-2171 (代表)  
E-mail: thr-82keikaku@mlit.go.jp

#### ホームページアドレス

■東北地方整備局 <http://www.thr.mlit.go.jp/>

■盛岡営繕事務所 <http://www.thr.mlit.go.jp/moriei>